

第3回 委員部会運営委員会(定例会) 報告

日時：令和4年6月30日(木) 午後1時50分～4時10分

会場：国分寺市本多公民館 2階 講座室

出席市：国分寺市、国立市、西東京市、福生市、狛江市、東大和市、昭島市、小金井市、小平市、町田市、日野市

報告事項

1. 都公連企画委員会(6月24日)について 【別紙参照】
 - ・ 第59回 東京都公民館連絡協議会 東京都公民館研究大会 開催要項(案)
 - ・ 実施日時：令和5年2月4日(土) 10時～午後4時40分
 - ・ 会場：小平市福社会館 市民ホール (大ホール)
 - ・ テーマ：次回検討
 - ・ 全体会の開催スタイル：対面式を基本 (全国配信の提案あり)
 - ・ 課題別集会の会場は、開催市に拘らず、課題別集会を担当する市の活用も検討

協議事項

1. 令和4年度 第2回 委員部会運営委員会(定例会) 議事録 承認 【別紙参照】
2. 令和4年度 東京都公民館連絡協議会 委員部会運営委員会 第1回 研修会について 【別紙参照】
 - ・ 日程：令和4年10月1日(土) 午後1時30分～4時
 - ・ 会場：国分寺市本多公民館ホール
 - ・ ファシリテーター：倉持伸江氏 (東京学芸大学准教授)
 - ・ 参加者：各市公運審委員、公民館関係者・利用者 40人 (委員部会委員を除く)
 - ・ テーマ：「コロナ禍を経験して見えてきた新しい公民館のあり方」
コロナ禍の最中に答申を出した国分寺市の取り組みの事例発表
答申作成中の公運審の取り組みについての発表 3市(狛江市・東大和市・国立市)
国分寺市・狛江市・東大和市・国立市によるパネルディスカッションと質疑応答
 - ・ 研修会の主体は、参加者によるグループワーク ⇒ 発表

情報交換 省略

以上

第 59 回東京都公民館研究大会開催要項 (案)

5 年後、10 年後の公民館

1 開催趣旨

地域コミュニティの中核施設である公民館は、地域住民にとっての身近な社会教育施設として、また、「つどう」「まなぶ」「むすぶ」ことを促進する「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」の拠点としてその役割を担ってきました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症のまん延により、私達の生命が脅かされるとともに、これまでに経験したことのない日常がもたらされ、公民館もその影響を大きく受けることとなりました。多摩地域においても、大半の公民館が臨時休館を余儀なくされ、その後の再開においてもさまざまな利用の制限を設けることとなり、以前と同じような活動はままならない状況となりました。

こうした中、社会においては、オンライン会議システムの活用などの LCT 化が急速に加速しました。その波は公民館にも確実に押し寄せ、東京都公民館研究大会についても、ここ 2 年間はオンラインでの開催となりました。これまで対面での活動が中心であった公民館にとって大きな転換点となりますが、Wi-Fi 環境を始めとしたハード面の整備など、潜在的な課題とともに新たな課題も浮かび上がってきました。

公民館がこれまで取り組んできた、高齢社会、防災、障がい者の社会教育、国際化、貧困、SDGs といった地域課題や、若者の利用の促進、学社連携、首長部局への移管といった公民館自体の課題に加え、ウィズコロナ、ICT や SNS などの活用、情報化の環境整備といった新しい課題を踏まえて、今後の公民館のあり方を考える必要があります。今大会は、公民館の課題を再確認しつつ、今後の公民館のあり方を見出す機会として開催します。

- 2 主催 東京都公民館連絡協議会
- 3 後援 東京都教育委員会、東京都市長会、東京都町村会、東京都市教育長会、東京都町村教育長会、
東京都市町村教育委員会連合会、小平市教育委員会
- 4 参加者 市民、公民館運営審議会委員、公民館職員、社会教育関係者、生涯学習関係者
その他本研究大会に関心のある方
- 5 日時 2023 年 (令和 5 年) 2 月 4 日 (土)
午前 10 時 ~ 午後 4 時 30 分
- 6 会場 〈全体会〉小平市 福社会館 市民ホール (大ホール)
〈課題別集会〉小平市 福社会館、中央公民館
- 7 プログラム 午前 9 時 30 分 ~ 開場・受付 (小平市 福社会館)
午前 10 時 ~ 11 時 30 分 全体会 (小平市 福社会館)
午前 11 時 30 分 ~ 午後 1 時 (昼食休憩 1 時間半)
午後 1 時 ~ 4 時 30 分 課題別集会 (各会場にて)
- 8 全体会 テーマ 「~」
講師 ○○○○氏 (●● ●●氏)
- 9 課題別集会 内容については、裏面をご覧ください。

10 参加費 1,000円

11 昼食 お弁当の斡旋はありませんので、各自でご用意いただくか、福祉会館・中央公民館周辺の飲食店をご利用ください。

12 申込方法 別添の申込書により 12月●日(●)までに、参加費を添えて在住市の公民館及び社会教育施設までお申し込みください(公民館及び社会教育施設は参加者を取りまとめのうえ、次の参加費等振込先にお振り込みください)。

※お申し込み後の参加費等の返金はできません。

※会場の収容人員等の都合により、ご希望の課題別集会に参加できない場合もあります。

申込書には必ず第3希望の集會名までご記入ください。

※手話通訳をご希望の方は、申込書にその旨ご記入ください。

○参加費等振込先

多摩信用金庫 一橋学園支店

普通預金 (口座番号) 0334280

トウキョウトコウミンカンレンラクキョウギカイ
(口座名義) 東京都公民館連絡協議会

トウキョウト、コウミンカンケンキョウタイカイ ジム キョクチョウ スエタカカズナリ
東京都公民館研究大会事務局 長 季高 一成

13 問い合わせ 第59回東京都公民館研究大会事務局

小平市教育委員会 教育部公民館管理担当

〒187-0032 小平市小川町2-1325 小平市中央公民館

電話 042-341-0861 FAX 042-341-0883

Eメール kominkan@city.kodaira.lg.jp

<会場案内図> ①小平市 福祉会館 (小平市学園東町1-19-13)

②小平市 中央公民館 (小平市小川町2-1325)

・西武多摩湖線青梅街道駅から徒歩5分

・JR武蔵野線新小平駅から徒歩15分

※駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

会場地図を掲載

令和4年度 第2回委員部会運営委員会（定例会）議事録（案）

日時：令和4年5月26日（木）午後2時～

会場：国分寺市本多公民館 2階 講座室

出席者：国分寺市(田中)、国立市(野口)、西東京市(西原)、福生市(渡部)、狛江市(内海)、
東大和市(新井)、小金井市(嵯峨山)、小平市(鈴木)、昭島市(三木)、
事務局（久保・榊） 欠席 町田市、日野市

記録：小平市（鈴木）

1 開会

国分寺市部会長あいさつ

- ・読売新聞等の情報によると防災グッズにマスクと消毒液が入っていない他
- ・町田市は7月から委員部会参加予定

2 報告事項

都公連役員会 第1回役員会（5月18日）

- ・全体の自己紹介（委員部会と同様の内容）
- ・役員会は年間6回実施
- ・会長、町田市 副会長、小金井市 理事、7市

3 協議事項

(1) 令和3年度第11回委員部会運営委員会（定例会）議事録→承認

(2) 令和4年度第1回委員部会運営委員会（定例会）議事録→承認

(3) 「公民館に関する調査」追加項目について

- ・WiFi設備の状況、オンライン講座等の配信機材の状況（東大和）
- ・コロナ禍での各サークル、講座開催の様子（昭島）
- ・感染症対策の方法→消毒やシールド、利用時間、定員の制限等（昭島）
- ・Zoom等、環境の整備の実態→サークルや講座でのオンラインが定着しているか否か（昭島）
- ・6月初めに公運審で提案予定（小金井・福生）
- ・7月に再確認することで決定

(4) 令和4年度委員部会第1回研修会（案）について

- ・日程 令和4年10月1日（土） 午後
- ・会場 国分寺市本多公民館ホール
- ・講師 研修内容により講師を選定（国分寺市）

国分寺市の答申についての経緯を研修会にしてみてもどうでしょうか～東大和市から
新型コロナウイルス感染症対策下における公民館の役割・現場レベルでの研修

出来ることからワークショップ的なもので皆のための研修

国分寺市、国立市、東大和市の各委員と職員で研修内容を検討する

6月に最終的に研修内容を決定する

4 情報交換

西東京市：西東京市公民館だより参照

- ・田無公民館のリニューアルにより WiFi が利用可能になった。
各公民館へのルーターの貸し出しもあり
- ・田無公民館まつりが5月29日（日）
新型コロナの影響による中止等3年ぶりに開催しました。

福生市：公民館ふっさ参照

- ・公民館ふっさは、紙ベースとして全戸年3回配布です。また、福生市ホームページの公民館の
ページにおいても、公民館ふっさのデータを掲載しています。
- ・コロナ禍での新たな取り組みとして、公民館ふっさの紙面を使って「公民館紙面講座」を実施
しました。この「公民館紙面講座」は、コロナ禍において対面で講座が実施できなかった事
から、全市民が、紙ベースやスマホ、パソコン等から自宅等でいつでもどこでも講座を受講
できるようにした取り組みです。
- ・市報とは別に配布している
- ・福生市公民館運営審議委員の紹介（10名）
- ・今年度には答申提出に向け準備をしているところである
- ・館外研修等も検討中

狛江市：広報こまえ参照

- ・公民館だよりは年2回発行
- ・広報こまえのインフォメーション欄に公民館情報が載っていない
- ・第2回公民館運営委員会の開催

東大和市：東大和こうみんかんだより参照 3分館だより参照

- ・こうみんかんだより、全体的な東大和市公民館重点目標、公民館の主な事業等の周知
- ・5分館（中央公民館、南街公民館、狭山公民館、蔵敷公民館、上北台公民館）独自の
地区館だよりを発行している。
- ・公民館保育室で親子いきいき、3館の保育付き自主グループを紹介
- ・五館合同事業としてみんなでつくる遊空間イベントの募集等
- ・ソフトバンクとの協力による地域活動の拡大

昭島市：今月昭島公民館だよりなし

- ・公民館だよりは偶数月の発行
- ・5月13日に公運審委員会開催
- ・7月3日の昭島公民館40周年記念のイベントの準備

公民館事業企画書

資料3-4

事業タイトル	コロナ禍を経験して見えてきた新しい公民館のあり方（仮称）
項目	提案内容
<p>1 事業概要</p> <p>なにをしたいのか。それをどのように行うのか。講師は誰に頼むのか。</p>	<p>【内容】</p> <p>1 コロナ禍の最中に答申を提出した国分寺市の取組みについて（事例発表）15分</p> <p>2 現在、答申作成中の公運審の取組みについて（狛江、東大和、国立）各10分 ※パワーポイント可。</p> <p>3 1・2によるパネルディスカッションと質問（30分） ～休憩（10分）～</p> <p>4 参加者によるグループワーク（45分） ※委員部会メンバーが各グループをファシリテートする。</p> <p>5 グループワーク発表（15分）</p> <p>※ファシリテーター：倉持伸江さん（東京学芸大学准教授）</p>
<p>2 目的</p> <p>その事業を行うことでどういったことが達成されるのか。</p>	<p>コロナ禍が始まって2年が経過した。その間、多くの公民館が閉館したり、活動の制限を受けてきた。そのような状況下でも学びを継続させるために各公民館で努力してきた。そして、コロナ第6波のピークが過ぎた本年度、「ウィズコロナ」社会における制限緩和の流れの中で、これからの公民館像を探ることを目的とする。</p>
<p>3 対象者</p> <p>誰に対して実施するのか 何人募集するのか</p>	<p>各市の公民館運営審議会委員、公民館利用者 40人（委員部会委員除く） ※40を超えても50ぐらいまでは受け入れ可能。</p>
<p>4 実施時期・回数</p> <p>いつ何回実施するのか 「けやきの樹」掲載は何月号か</p>	<p>【開催日時】10月1日（土）午後1時30分～4時</p>
<p>5 実施場所</p> <p>どこで行うのか 公民館以外で行う場合は必要な設備は何か</p>	<p>本多公民館ホール グループワークは9班ぐらいまでは可能。</p>
<p>6 予算</p> <p>講師料はいくらか 消耗品費や参加費は</p>	<p>【講師謝礼】都公連基準に準拠する。</p>
<p>7 その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「国分寺市立公民館における新型コロナウイルス感染拡大防止運営方針」に基づき事業を実施する。 ・対面での実施とする。